

## 自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 鶴沼第2自治会連合会・陵南自治会連合会
2. 日 時 令和元年8月22日（木）19時00分～20時30分
3. 場 所 陵南福祉センター
4. 出 席 者 自治会長 34名、 市長・文化財課長

〈内容〉

○連合会長あいさつ

○市長あいさつ

○テーマ概要

テーマ①：過去から現代、未来を順に巡る「歴史発見イベントツアー」「研修等」を設けてはどうか

テーマ②：消防団員離れ対策として、「サポートカード」のようなものをつくり、参加頂ける店舗にて、特典として割引が受けられる等の取り組みを

テーマ③：人口に対して基幹病院が1つしか無い為、病院（厚生連病院、徳洲会病院など）を市内誘致してほしい

○提言による懇談

テーマ①：過去から現代、未来を順に巡る「歴史発見イベントツアー」「研修等」を設けてはどうか

〈三ツ池東第2自治会長〉

三ツ池町には市内で一番有名と思っています三ツ池炉畑遺跡（縄文時代）があります。次に大牧古墳（古墳時代）、山田寺（白鳳時代）、天狗谷遺跡（奈良平安時代）、承久の乱古戦場（鎌倉時代）、中山道鶴沼宿・うとう峠一里塚（江戸時代）、村国座（明治時代）、旧川上家別邸（昭和時代）というように、過去から現代まで一通りいえる史跡が各務原市にはあります。さらに現代から未来に行ける岐阜かかみがはら航空宇宙博物館があり非常に誇れる史跡があり、これらを活用して一日回って歴史発見、子ども達にしてみれば自然と歴史が勉強できます。

また、他の市町の子ども達にも各務原市のこの様な所を回ると歴史が勉強できるよとか、さらに将来の日本のこれからのキーを持つ航空宇宙関係に興味を持ってもらえたいと思います。是非、各務原市の持っているこれらの宝を使ったイベントツアーや研修会を行っていただきたいと思います。

〈市長〉

市では、昨年度から「スマートミュージアム事業」を進めています。この事業の目的は、市内各地に残る歴史的な建造物や史跡の活用、中央図書館、川島会館、町屋館における歴史資料の展示、あすかホール・多目的ホールを利用したシンポジウムや歴史セミナーの開催などを組み合わせ、町中を博物館に仕立てていくことです。

ご提案いただきました「歴史発見イベントツアー」は、まさに本事業の趣旨に沿うもので、市民の皆さまが建造物や史跡を見学しながら故郷の発展的な歴史を学び、心のなかに地域の誇りを醸成するための大切な事業に位置付けられると思います。

市で取り組んでいる類似の事業を紹介しますと、「ふるさとの歴史を知ろう！」による目的に応じた見学場所の紹介とスタンプラリー、「かかみがはらの遺跡探訪」及び、文化財カードによる具体的な見学コースの提案、5つのテーマで100カ所の史跡・旧跡を紹介する「各務野ヒストリー探検MAP」などがあります。

また、ツアーとしては、今年の8月2日に「歴史・民俗探求バスツアー」を開催し、木曾川文化史料館、中山道鶉沼宿、歴史ギャラリーを見学しました。さらに、動く市民教室においても、炉畑遺跡や村国座などをコースに採用しています。

ご提案のように、時代の順に沿った史跡や博物館の巡回は、発展の歴史が整理でき理解しやすいと思います。市内各地の見どころをピックアップすると、他にも複数の候補が上がってきますので、一日で巡回できるボリュームを考慮する必要がありますが、テーマ別に設定することで幾つかのコースに分けることができそうです。

また、ご提案のとおり「空宙博」も含めることで、未来へ夢の広がる幅広い歴史ツアーが組めます。この度のご提案内容は、今後に計画する歴史ツアー事業の参考にさせていただきたいと思います。

〈朝日5丁目東自治会長〉

先程、イベントツアーの紹介がありましたが航空宇宙博物館が出来た時に、子どもを連れて行ったことがあります。当時の入場料は1,000円くらいでした。中にはヘリコプターのシミュレーターがありました。そして「飛鳥」が展示してありましたが、あまり魅力的ではありませんでした。

昨年リニューアルオープンしましたが、その後の入館者数はどうでしょうか。私も通勤で前を通りますが、あまりバスも止まっていないようですし、外のお店もやっていないので、どうなのか。まだリニューアルされてから行ってないのですが、やはりツアーの中に入れるのであれば、それだけの魅力がないと入らないと思いますので、市も色々と努力されていると思いますが、その辺りの状況をお願いします。

〈市長〉

昨年3月24日にリニューアルオープンしまして、1年少し経過したところでありますので、是非、訪れていただきたいと思います。約1年経った時の数字で申し上げますと来館者数は今年3月で約44万人です。今年の5月3日に50万人、約400日で達成しました。入館料は、一般の方が800円、60歳以上の方が500円となっています。そして、中学生以下は無料ということから以前より入館しやすくなったと思いますし、お子さんやお孫さんをお連れになって、ご来館いただける方も増えてきているのではないかと思います。

展示物につきましても、ヘリコプターや飛鳥も展示しております。加えて世界で唯一の実物といわれている「飛燕」を知覧特攻平和会館から、各務原市に戻し展示しています。川崎重工業で製造していましたので生まれた地に帰ってきたということです。

そして、ゼロ戦の初号機・試作機になりますが実寸大で展示しております。シミュレーターにつきましても、旅客機型、小型ジェット機型等様々なパターンのシミュレーターを設置しておりますのでお楽しみいただきたいと思います。

また、宇宙分野も充実しており、国際宇宙ステーション「ISS きぼう」の実寸大模型では、わざわざ宇宙に行っている暖簾を作っている暖簾屋に頼んで作ってもらうなど、職人さんがこだわりを持って作っていただきました。

今年5月に、日本の宇宙博物館ランキングが発表されました1位がJAXA 筑波宇宙センター、2位が日本科学未来館、3位が岐阜かかみがはら航空宇宙博物館であります。様々な企画を通じて評価も段々と上がり、来館者数も先程申し上げたような数字を出しています。

そしてもう一つショップとカフェというお話しでしたが、館内のミュージアムショップとミュージアムカフェもリニューアルし、リニューアル前の5年間の平均を取りますと来館者数は11万人くらいで、ショップとカフェの年間売上額は約3,000万円でした。リニューアル後来館者数は4倍に増えて、ミュージアムショップ、ミュージアムカフェの年間売上額は約2億円となっており、6倍以上になっております。今後につきましても、この博物館は市民の宝物であるといった思いで、様々な企画・PRに努めてまいります。

〈自治会長〉

博物館の入館料についてですが、今800円と言われましたが、2回行くというのは、好きな方でないと行けないので、もう少し安くしてほしいと思います。

〈市長〉

入館料を変更することは難しいですが、年間パスポートもご用意しております。60歳未満2,000円、60歳以上1,300円でありますので、これ以上引き下げるとは運営に難しいものがありますのでご理解のほどお願いします。

テーマ②：消防団員離れ対策として、「サポートカード」のようなものをつくり、参加頂ける店舗にて、特典として割引が受けられる等の取り組みを

〈各務原3丁目東自治会長〉

地域活性化事業の一つとして消防団員離れ対策として「サポートカード」のようなものを作り、参加頂ける店舗にて特典として割引が出来る等の取り組み事業をしてほしいと思います。

現在、消防団員の高齢化に伴い、各自治会で募集しても、一向に集まらず頭を悩ませているのが現状です。若い世代に入団して頂くために、例えば消防団員または配偶者がいれば、合わせて特典が付くような市としてのサポートがあれば、もっと多くの入団希望も可能と思われます。

今後も呼びかけを続けていきますが、若い人は目を向けてくれないのが現状でありますので、サポート制度が必要と考えます。同様なサポートは関市等にありますので、多くの若い世代がどんどん加入されるようにお願いします。

〈市長〉

8月4日に高山市で開催されました第68回岐阜県消防操法大会において、各務原市代表として参加した蘇原地区ポンプ車隊が、6位優秀賞を受賞することができました。

この結果は、もちろん消防団員の努力の成果であると思いますが、自治会をはじめとした、関係者の皆様のサポートがあってなされた快挙であると思います。今後も引き続き、消防団活動に対するご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

消防団は、火災や防災の現場で活動する住民有志で組織された市の消防機関で、この組織を次世代へ、その次へと引き継いでいくことが重要であります。かつては全国で200万人いた消防

団員は減少傾向が続いており、今や 86 万人を割る状況にあり、地域防災力の低下が懸念されており、主な原因としては、人口減少、若者の都会への流出、地域への意識低下などが上げられています。

このような中、各務原市の入団状況は、自治会をはじめとした、地域住民の消防団活動へのご理解とご協力のもと、743 名もの条例定数に近い団員数を維持できています。

平成 28 年度に発足しました大学生達による「応急手当普及活動」や「住宅防火訪問」、「保育所で行う幼児への防火教育」、さらには「音楽隊による火災予防啓発活動」といった活動を行う機能別団員の導入もその一因となっています。平成 31 年 4 月 1 日現在、22 名の市職員が消防団に在籍しており、地域防災のリーダーとして活躍している者も複数います。

「消防団員離れ対策」としてご提案いただきました「消防団に対する特典」についてですが、平成 26 年度より岐阜県全域の事業としまして「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」を岐阜県が展開しています。地域のお店が一定のサービスを通じて応援する機運を高め、消防団員に対して地域を挙げて盛り上げていくことを目的としています。ご賛同頂いた地元の店舗や施設等の「応援事業所」が、この制度にご登録をして頂くことで、消防団員やその家族を対象に割引サービスや特典を提供しています。応援事業所毎で独自にサービス内容を設定しており、岐阜県のホームページにおきまして情報提供をしています。

サービスの一例を紹介しますと、飲食代や宿泊費等について 5%~20%割引されるものや、粗品をプレゼントするもの、スタンプを押印し、スタンプがたまると景品と交換するといったものまで様々です。日頃からの地域の防災力や有事の際の活動力といった備えは欠かせないものであり、その一端を担う消防団員の確保は必要不可欠であることから、引き続き維持して頂きたいと切に願っています。

ご提案いただきましたこういった消防団員に対する制度が少しでも団員確保の一助になればと考えています。今後ともよろしく願います。

テーマ③：人口に対して基幹病院が 1 つしか無い為、病院（厚生連病院、徳洲会病院など）を市内誘致してほしい。

〈大伊木東自治会長〉

現在、各務原市には東海中央病院しかありません、これから 2025 年問題というのは皆さんもご存知かと思いますが団塊の世代 700 万人、あと高齢者が 3,657 万人と非常に高齢化になっていきます。

ちなみに高齢者 3,657 万人というのは、日本の明治元年には人口 3,400 万人しかいませんでした。今後、高齢の方が多くなるということで、6 年後には高齢化社会になります。各務原市には、東海中央病院しかありませんので、もう一つ厚生連病院とか、全国展開しています徳洲会病院などを誘致してはと思います。

〈市長〉

人口に対して、基幹病院が 1 つしか無い為、病院を誘致すべきではとのご提案でございますが、提言理由の中にもありましたが、2025 年には団塊の世代が全員 75 歳以上となり、医療や介護を必要とする方々が大幅に増えることが予想されています。一方でそれを支える、生産年齢人口（15 歳~64 歳）は減少を続けています。将来にわたって持続的に適切な医療・介護を受け

られるようにするためには、限りある地域の資源。例えば、医師、看護師、医療機関の病床数や、先進技術を用いたCTスキャナー、MRI等の高額医療機器などを効率的かつ効果的に活用していく必要があると思います。

こうした中で、国の法律及び、方針「医療提供体制の確保に関する基本方針」に基づいて、岐阜県では地域の実情を踏まえた「第7期岐阜県保健医療計画」を策定しています。その計画の中では、①医師の偏在への対策、②高額な医療費を必要とする緊急・重症な患者などの「急性期病床」から、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーション機能を提供する「回復期病床」への転換、③介護施設や在宅医療への移行の取組みが進められています。

また、各務原市を含む岐阜圏域では、将来予測される医療機関の基準病床数に比べて、急性期病床が多いとして、2025年までの病床数の削減が示されております。国は、2025年の地域医療構想の実現に向けて、医療圏域ごとの実態に合わせた病床削減と病床機能の転換等を求めています。

従いまして、急性期病棟をもつ総合病院につきましては、近隣には岐阜県総合医療センターなどがあり、市内には東海中央病院がある状況から、ご提言にありました基幹病院の誘致につきましては難しいと考えています。一方、介護保険においては、リハビリテーションを必要とされる高齢者の方々に対し、様々なサービスがあります。例えば、在宅復帰を目指し入所してリハビリテーションを行う「介護老人保健施設（老健）」、在宅復帰された方が一時的に入所される「短期入所療養介護」、自宅から通ってリハビリを受ける「通所リハビリテーション」や自宅でリハビリを受ける「訪問リハビリテーション」などです。

市では3年ごとに「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定しており、本年は第7期計画の2年目の年となっています。その中で本市としましては、「自助」「互助」「共助」「公助」の連携による「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、介護サービスの充実や高齢者を支える地域づくりなどを段階的に進めているところです。今後も、この「地域包括ケアシステム」を深めるため、「高齢者にやさしいまち かかみがはら」を基本理念とし、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう日常生活の自立支援、介護予防・重度化防止、在宅医療と介護の連携強化、認知症対策などを積極的に推進して参ります。

#### ○行政の説明

- ・ひとの活躍・まちの活気

しあわせ実感かかみがはら

#### ○連合会長まとめのことば

#### ○市長まとめのことば